

We are
inspiration
in action



Engaging with
UNV

 **UN
VOLUNTEERS**

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業
-HRD プログラム-
活動レポート(2023-24年度派遣)

Global Peacebuilders Programme 2023–24

 **UN
VOLUNTEERS**

HRD プログラム

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業（HRDプログラム）は実施パートナーである外務省、一般社団法人広島平和構築人材育成センターとUNVの共同事業です。2007年に設立され外務省によって資金提供されており、2023年から2024年にかけてはフェーズ17が実施されました。

プログラムは女性、若者、障害された人々の能力開発や世界の最も脆弱な和平プロセスにある国々の現地コミュニティ間の信頼醸成に貢献するとともに、国連の協力を促進するため地域、そして国レベルで活動しています。

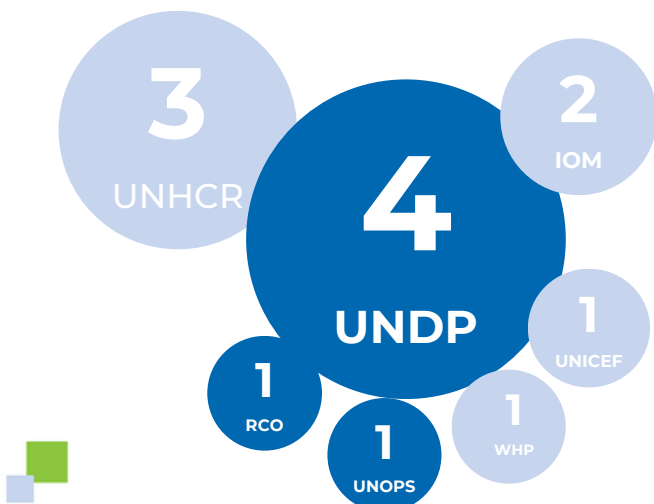
ボランティア活動を促進していくことはHRDプログラムのボランティアが世界中で行っている持続的な貢献の重要な側面です。彼らはボランティア活動を通して、個人やコミュニティを受動的な支援の受け手から平和、和解、開発プロセスの推進者にするためのモデルを提供しています。

HRDプログラムの実施は、UNV本部や東京連絡事務所、そしてUNV現地ユニットに所属する多くのスタッフの連携によって実現します。

2023-24年 フェーズ17

2023年から2024年にかけて、HRDプログラムは国連ボランティアを幅広い地域と分野に派遣しました。ウガンダで働く難民団体のスタッフに能力開発研修の提供や、ジョージアの国内避難者と受け入れコミュニティのために交流イベントを実施するなど、様々な活動を行っています。HRDプログラムのボランティアは世界で最も差し迫った危機の真ただ中に身を置き、平和構築活動を一から進め、ボランティア活動が地域社会にもたらす大きな変化を実証しています。

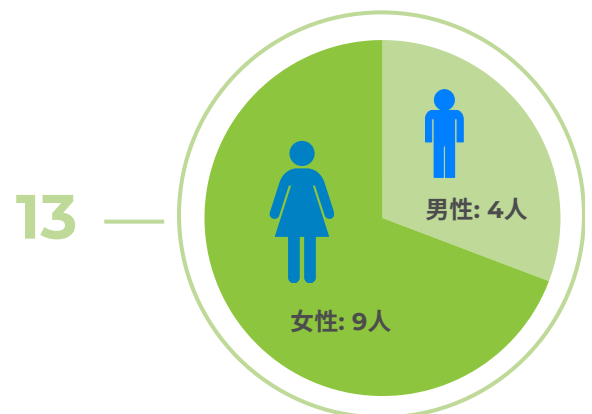
プログラム参加者の所属機関



重視するスキル

- ・イノベーション
- ・平和追及への責任
- ・持続可能な解決を重視
- ・学ぶ意欲
- ・サービス指向のプロ意識
- ・受け入れ機関のニーズに合った能力
- ・変革のモデル
- ・現地カウンスラーの能力開発

PHASE 17における プログラム参加者の男女比



プログラム参加者の 所属機関での役職

- Associate Research Officer
- Project Officer / Project Management Specialist
- Peacebuilding Specialist
- Climate & Resilience Program Officer
- Partnership Analyst
- Health Governance Officer
- Peace and Development Analyst
- Associate Protection Officer
- Peace and Development Analyst
- Associate Community Based Protection Officer
- Project Officer
- MECC Specialist
- Child Protection Associate

Mariko - Associate Protection Officer

Uganda / UNHCR



大竹さんはウガンダの国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）で、難民の保護や問題の解決に尽力しました。難民の居住地域、地元当局、ウガンダ政府、そしてパートナー団体の協力関係を高める取り組みを実施しました。大竹さんは、難民の人々がどのようなことを必要としているかを調査し、週ごとの保護状況の報告書を作成。また、地図作成のトレーニングを実施することで、難民団体の能力や自立性の向上に貢献しました。

成果：

- ・国連難民高等弁務官事務所のカントリーオフィス、サブオフィスと協力するとともに、年齢・性別・多様性（AGD）アプローチを導入し、参加状況の調査を実施
- ・難民団体の参加を促進するため、10難民団体のための3日間のトレーニングセッションを再編成
- ・個々の保護事例を管理し、パートナー団体へ報告

「大竹さんは健全な心を持ち、こちらから頼む前に行動してくれ、仕事熱心で、礼儀正しく、誠実な姿勢を心がけていました。また、大竹さんは常にプロ意識と人道、思いやりをもって取り組んでいました。」 同僚からのコメント



ムングラ居住地域にて難民の人々やスタッフによって栽培されているコットン畑を訪問



アゴジョ居住地域にて難民団体の代表にインタビュー

Taiga - Health Governance Officer

UNDP / Guinea-Bissau



「彼は国の制度を良くすることに強い思いをもつ勤勉で熱心な人です。」 同僚からのコメント

国連開発計画（UNDP）ギニア・ビサウは保険制度の促進を行っています。例えば、健康保険や保険分野の腐敗防止、そして社会保障への貢献です。勝木さんは保険分野の腐敗防止の重要性を広める活動を行うとともに、季節性マラリアの防止活動、マクロ経済とギニアの貧困状況についての調査も実施しました。

成果：

- ・保険分野の腐敗防止について能力向上のためのワークショップを行うことによって保健省の従業員200名以上をトレーニング
- ・社会保障プロジェクトに使用する150万ドルの寄付の調達に貢献
- ・ギニア・ビサウのマクロ経済の調査・分析の実施（カシューナッツビジネスの状況など）
- ・監査とプロジェクト品質保証のレポートなど有益な情報を提供



ギニア・ビサウのバファタにて、社会保障の国民皆保険による、マラリア予防薬の配布活動を監視



ギニア・ビサウのガブにて、国連開発計画の代表として、国連人間居住計画とともに給水システム完成のセレモニーに参加

Sooyeon - Project Officer (Migration, Business, and Human Rights) IOM / Thailand



タイの国際移住機関（IOM）で移民労働者、ビジネス、人権の支援に携わった崔さん。崔さんは、タイで事業を行う日系企業や日本政府、タイの市民団体、そして他の国連機関とも協力してイベントや会議を開催しました。また、日本企業の移民労働者、ビジネス、人権状況についての調査も実施しました。

成果：

- ・サムットサーコーン県でのスタディツアーを開催し、日系企業や政府関係者、タイの市民団体にミャンマーの移住者の状況について啓蒙
- ・57のステークホルダー（日系企業や政府関係者、タイの市民団体、国連機関など）間の連携を促進
- ・バンコクで行われた国連・責任あるビジネスと人権フォーラムを活用し、移民労働者が抱える人権リスクについて42のステークホルダー（日系企業や政府関係者、タイの市民団体、国連機関など）の理解を促進

「彼女は非常に献身的で、専門性を十二分に発揮し、私たちの取り組みの成功に貢献してくれました。」
プログラムコーディネーターかつUNV管理者のふなかわなつこさんからのコメント



移民労働者団体や市民団体に訪れ、ステークホルダーの関与について学ぶ

Nagisa - Climate and Resilience Program Officer WFP / Guinea



「椎葉さんは新しい環境にすぐに適応し、違う部署とも協力して活動を行ってくれました。」
上司からのコメント

ギニアの世界食糧計画（WFP）気候レジリエンス・プログラムオフィサーとして椎葉さんは小規模農家の支援の取り組みをしました。彼女の取り組みは世界食糧計画が目指す、ゼロ・ハンガー（飢餓撲滅）達成への貢献です。ギニア世界食糧計画では様々な活動をしており、その中には学校の児童に給食を提供し、子供たちに十分な栄養を与える活動も含まれます。彼女は小規模農家の持続性を高める活動を行いました。彼女の取り組みは小規模農家の気候変動に適応する力を伸ばしました。多くの人々が農業で生計を立てるギニアにとってそれは重要な活動です。

成果：

- ・世界食糧計画のカントリーオフィスとサブオフィスの調整を行い、小規模農家を支援するプログラムを実行
- ・ギニア世界食糧計画の主要な活動である「ゼロ・ハンガー・ビレッジ」のコンセプトを促進・普及
- ・小規模農家のグループと買い手をつなぐオンラインツールを作り、市場へのアクセスを改善

Misato - Child Protection Associate

Unicef / India

ジャンムー・カシミールの国連児童基金（UNICEF）で板倉さんは活動しました。活動内容は、「児童婚をなくすためのグローバルプログラム」、「子供に対する暴力撤廃」、「青少年の発達と能力向上」です。板倉さんは児童保護刷新基金に対して、効果的な評価方法を考案するとともに、様々な団体にも参加を促すことで改善を進めました。また、教育、保健、社会福祉チームと協力して、青少年プログラムの重要性を啓発するための投資事例を立案しました。

成果：

- ・「児童婚をなくすためのグローバルプログラム」2024年報告書の編集、6か国のケースを使用したナレッジ共有の向上
- ・「青少年の発達と能力向上」や精神衛生サポートの投資事例を立案し、問題を世間に広め資金調達に貢献



「板倉さんはチームに参加してからとても貢献してくれました。与えられた仕事に対して、彼女の社会課題についての専門性や協調性、探求心を活かして取り組みました。彼女の児童保護コンセプトの刷新、「児童婚をなくすためのグローバルプログラム」事例の記録や年間報告書への取り組みとリーダーシップはチームにとって大きな力になりました。」
上司からのコメント

Daiki - Project Officer / Project Management Specialist

UNDP / Georgia



林さんはジョージア、ズグディディの国連開発計画（UNDP）オフィスに所属し、国連ボランティアとしてコミュニティ開発や多様なバックグラウンドを持つ人々の信頼醸成に貢献しました。はやしさんは市民団体のネットワークや持続性を高めるとともに社会的に脆弱な立場にある女性、若者、国内避難民、障害を持つ人のためにイベントを実施。そのような方々が抱える課題に対して、ワークショップやトレーニングセッションを行うことで必要なツールや知識を提供しました。

成果：

- ・資料へのアクセスを向上するために効率的なファイリングシステムを考案
- ・能力向上のためのセッションを開くことで社会的に脆弱な立場にある人々の能力を高めるとともに、市民団体との連携を向上
- ・電子廃棄物管理の行動学について新しいアプローチを用いることで貢献
- ・プロジェクトの目標達成のためパートナー団体の活動の管理を実施



ワールドユースデーを記念して、国連開発計画（UNDP）ズグディディオフィス中央図書館でチェス大会を開催。林さんが表彰する様子。



ワールドクリーンデーを記念して国連開発計画（UNDP）は町の青年40人とビーチの清掃活動を実施。林さんが青年に清掃用具を手渡し。

「林さんは有能で、規律正しく、そしてとてもプロフェッショナルです。彼は様々な仕事に対して適応するのがとても速く、質の高い仕事をしてくれ、頼れる信頼できるチームメンバーです。」ジョルジ・ヴァルディシヴィリ
CPRチームリーダー

Kasumi - Peace and Development Analyst

UNDP - DPPA/DCO Istanbul



「ボランティアとして活動を始める前は、職員とボランティアの間には大きな違いがあると思っていました。しかし実際に働いてみると、その違いはそれほど大きくなく、ボランティアでもさまざまな業務に関わることができると思っています。」

イスタンブールの国連開発業務調整事務所（UNDCO）のUNVボランティアとして、市田さんは3つのテーマ：1）女性・平和・安全保障（WPS）、2）気候・平和・安全保障、3）共同国別評価書（CCA）や協力枠組みプロセス、に携わりました。彼女は、平和・開発アドバイザー（PDA）や現地コーディネーターと協力してこれらのテーマに取り組みました。

成果：

- ・5か国の気候課題と女性・平和・安全保障（WPS）を組み合わせたプロジェクトの計画案を作成
- ・状況分析と現地コーディネーターや国連事務総長特別代表への報告の実施
- ・複数国で現地コーディネーターと協力・情報共有を目的とした会議を開催

「国連での活動に関心のある方から、“ボランティアであることへの不安”について聞かれることがありますが、UNV（国連ボランティア）は、実践的なスキルや知識を身につけ、チームの一員として責任ある役割を担うことができる、非常に貴重な機会です。

国連での経験がまだないけれど、SDGsや国連、そして世界に貢献したいと考えている方にとって、ボランティアは選択肢のひとつとしてぜひ検討していただきたいと思います。」

Engaging with
UNV



The United Nations Volunteers (UNV) programme contributes to peace and development through volunteerism worldwide. We work with partners to integrate qualified, highly motivated and well supported UN Volunteers into development programming and promote the value and global recognition of volunteerism.

UNV is administered by the United Nations Development Programme (UNDP).



Empowered lives.
Resilient nations.